

はじめてのせかい 0・1歳児

No.1



0歳児

ポットンおとし

ペットボトルのふたを穴に入れ、ポットンと穴に入った瞬間、保育士をみて『はいった!』というように手を叩いたり声を出して喜んでいます。全部いれ終わるともう1回したいと「あーあー」と声を出し、保育士に容器を持ってきます。

長いチェーンリングは、はじめはなかなか入りませんでした。くり返すうちに持ち方が『つかむ』から『つまむ』に変わり高く持ち上げるようになりました。すると、チェーンリングの先に気づき、今ではチェーンリングの先を穴に合わせようとゆっくり動かしながら入れています。

手に持つ様々な形や大きさのものを選べるようにしたこと、そのものに合わせて指の使い方を変え、穴に入れてくりかえし遊んでいます。



1歳児

だんご虫

春になり、園の子どもたちはだんご虫を探すのに夢中です。年上の友だちが、りす組さんにも見せてくれます。初めはもぞもぞ動く様子に、恐る恐る指先でツンと触っていました。毎日遊ぶうちに、保育士の手の上から慣れた手つきで受け取って遊ぶようになりました。テーブルの上でつまもうとすると丸まる様子、手の平の上で触覚を動かしながら這っていく様子など、見て、触って、だんご虫を感じています。

あ!だんごむし!



「絵本」と「本物」が結びついた瞬間です

